

宮古市の津波避難訓練と災害対応訓練に本学教員及び学生が参画しました。

2025年3月11日 開催

キーワード：防災訓練、地域防災、防災教育、地域連携、人材育成

開催場所：田老地区結橋、重茂地区総合交流促進センター、重茂中学校（岩手県宮古市）

岩手県宮古市では、2011年3月11日の東北地方太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらした「東日本大震災津波」の教訓を忘れることなく、今後の津波災害に対する備えをさらに強化するため、毎年3月11日にあわせて津波避難訓練を開催しています。2025年3月11日についても、早朝6時より、自動車を交えた津波避難訓練や、避難所運営訓練を主とする災害対応訓練があわせて実施され、岩手県立大学総合政策学部および宮古短期大学部教員及び学生計10名がこれに訓練支援員として参画、防災復興支援センターからは副センター長 杉安和也（総合政策学部）及び学生団体FROMのメンバー6名が参加しました。

宮古市田老地区の津波浸水想定区域では、杉安和也副センター長（総合政策学部）及び学生団体FROMのメンバーが、沿岸部に偶然居合わせた土地勘のない観光客役として避難訓練に参加、身の安全を確保する行動をとり、防寒対策を徹底して避難行動を取りました。この際、杉安副センター長の監修のもと、消防団による防災用スピーカー搭載ドローンでの残存者探索・避難誘導実験も行われ、FROMメンバーが誘導を受ける被験者役を務めました。

また、宮古市重茂地区総合交流促進センターでは、避難所開設運営訓練が行われ、本学教員 宇佐美誠史（総合政策学部）・菊池護（宮古短期大学部）及び学生2名がその運営支援ボランティアとして参画、避難所での段ボールベットやパーティションの組み立て・撤去作業支援を行いました。災害対応を学ぶ場を提供してくださった宮古市地域の皆様に、御礼申し上げます。岩手県立大学防災復興支援センターは、今後も地域防災に取り組む市町村・各団体と連携しながら、地域防災力向上に資する活動に努めて参ります。

■概要：

- (1) 日時 2025年3月11日 6：00～7：30
- (2) 会場 岩手県宮古市 田老地区結橋、重茂地区総合交流促進センター、重茂中学校
- (3) 対象 宮古市の住民の皆さん



写真1・2 宮古市田老地区結橋周辺での避難訓練の様子



写真 3・4 ドローンによる避難誘導実験の様子（田老地区）



写真 5～10 重茂地区総合交流促進センターの避難所設営訓練の様子
宮古市長 山本正徳様と本学参加教員・学生